

後期高齢者医療特別会計

1 事業概要

平成 20 年 4 月 1 日から新たに後期高齢者医療制度が創設され 5 年が経過しました。

この医療制度は、都道府県を単位とした保険者が運営を行い、長野県では長野県後期高齢者医療広域連合が運営を行っています。

この制度では、加入する被保険者全員から後期高齢者医療保険料として、市町村が保険料の徴収を行い運営主体である広域連合へ納付することになっています。後期高齢者医療特別会計は、主に保険料を徴収して広域連合へ納付することに加え、広域連合で必要な事務的経費を納付するための特別会計です。

2 加入状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	安曇野市人口	被 保 険 者 数		全人口に占める 加入割合
		総 数	うち障害認定	
平成 24 年度	99,262 人	13,817 人	266 人	13.9 %
平成 23 年度	99,348 人	13,511 人	317 人	13.6 %

3 一人当たりの年間医療費の状況

平成 24 年度	806,943 円
平成 23 年度	806,511 円

4 歳入状況

(1) 歳入内訳

(単位:円)

区 分	特別徴収保険料 (現年分)	普通徴収保険料 (現年分)	普通徴収保険料 (滞納繰越分)	小 計 + + =	督促手数料
平成 24 年度	472,704,700	200,280,700	1,931,310	674,916,710	152,900
平成 23 年度	442,894,500	175,157,450	2,738,429	620,790,379	121,000
増 減	29,810,200	25,123,250	807,119	54,126,331	31,900

区 分	事務費 繰入金	保険基盤安定 繰入金	繰 越 金	保険料 還付金	延滞金	合 計 (+ + + + + +)
平成 24 年度	33,345,156	180,384,908	12,083,588	332,900	38,800	901,254,962
平成 23 年度	27,761,875	168,725,663	14,056,800	187,700	138,500	831,781,917
増 減	5,583,281	11,659,245	1,973,212	145,200	99,700	69,473,045

増減 = 24 年度 - 23 年度

(2) 一般会計繰入金内訳

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	増減(-)
保険基盤安定繰入金	180,384,908	168,725,663	11,659,245
広域連合事務費分	33,018,156	27,327,875	5,690,281
特別会計事務費分	327,000	434,000	107,000
合 計	213,730,064	196,487,538	17,242,526

(3) 保険料収納状況

現年分特別徴収については、前年比 29,810 千円増、6.73%増額になりました。収納率は 100%になっており、全体の収入済額の 70.04%を占めています。

現年分普通徴収につきましては、前年比 25,123 千円増額となり、収納率は 0.24 ポイント向上しました。保険料収入が増えた要因として保険料率が改定されたこと、収納率が向上したこと等が要因となっており、収納体制が収納課に一元化されたことによる初期対応の迅速化と収納体制の強化・効率化等による効果が表れていると思われます。しかし、滞納繰越分については、収納率で対前年を 13.58 ポイントも下まわり、保険料収入も 807 千円の減収となったことは大きな課題となっています。

ア保険料率 均等割：38,239 円（23 年度 36,225 円）所得割率：7.29%（23 年度 6.89%）

イ 保険料収納率等の推移

特別徴収：現年度分

(単位:円・%)

年 度	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額 (- -)	収納率 /	未済額の 年度比較	備 考
22	424,553,500	424,687,000	0	133,500	100.03		還付未済
23	442,858,400	442,894,500	0	36,100	100.00		還付未済
24	472,581,600	472,704,700	0	123,100	100.03		還付未済

未済額の年度比較 = 当該年度 前年度

普通徴収：現年度分

(単位:円・%)

年 度	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額 (- -)	収納率 /	未済額の 年度比較	備 考
22	183,172,800	180,009,700	0	3,163,100	98.27		
23	177,897,100	175,157,450	0	2,739,650	98.46	423,450	
24	202,916,600	200,280,700	0	2,635,900	98.70	103,750	

未済額の年度比較 = 当該年度 - 前年度

現年度分計（特別徴収＋普通徴収）

（単位：円・％）

年度	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (- -)	収納率 /	未済額の 年度比較	備考
22	607,726,300	604,696,700	0	3,029,600	99.50		
23	620,755,500	618,051,950	0	2,703,550	99.56	326,050	
24	675,498,200	672,985,400	0	2,512,800	99.63	190,750	

未済額の年度比較 = 当該年度 - 前年度

滞納繰越分

（単位：円・％）

年度	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (- -)	収納率 /	未済額の 年度比較	備考
22	4,551,280	1,824,160	57,000	2,670,120	40.08		
23	5,853,820	2,738,429	55,100	3,060,291	46.78	390,171	
24	5,816,541	1,931,310	19,000	3,866,231	33.20	805,940	

未済額の年度比較 = 当該年度 - 前年度

現年度分計＋滞納繰越分

（単位：円・％）

年度	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (- -)	収納率 /	未済額の 年度比較	備考
22	612,277,580	606,520,860	57,000	5,699,720	99.06		
23	626,609,320	620,790,379	55,100	5,763,841	99.07	64,121	
24	681,314,741	674,916,710	19,000	6,379,031	99.06	615,190	

未済額の年度比較 = 当該年度 - 前年度

(4) 保険料の軽減状況（平成24年6月24日 本算定時：被保険者数13,687人）

均等割 軽減区分	一般(人)	被扶養者 (人)	小計(人) (+)	割合(%) /
9割軽減	1,943	501	2,444	17.86
7割(8.5割)軽減	2,437	441	2,878	21.03
5割軽減	476	65	541	3.95
2割軽減	1,244	1,021	2,265	16.55
合計	6,100	2,028	8,128	59.38

被扶養者は軽減割合に関わらず、経過措置で全員が9割軽減となります。

(5) 滞納処分状況

悪質な滞納者に対しては、税の公平性の観点から厳しい処分を行っています。

a 被保険者証の制限

平成 25 年 3 月 31 日現在

	短期被保険者証				資格者証明書
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	合計	
世帯数	0	0	25	25	0
被保険者数(人)	0	0	25	25	0

b 差押 市民課と支所市民福祉課が所管していた後期高齢者医療保険料の滞納整理を平成 23 年度から収納課の所管とし、効果的・効率的な収納体制が取られています。

c 分納誓約について 同上

d 平成 24 年度不納欠損状況

平成 25 年 3 月 31 日

不納欠損事由		人数 (人)	総期数 (件)	金額(円)
時効	執行停止を伴わないもの	0	0	0
即時欠損	法第 15 条の 7 第 5 項	0	0	0
執行停止後 3 年経過 法第 15 条の 7 第 4 項	無財産(同条第 1 項 1 号)	3	14	19,000
	生活困窮(同条第 1 項 2 号)	0	0	0
	所在不明(同条第 1 項 3 号)	0	0	0
時効(執行停止済)	法第 18 条第 1 項	0	0	0
合計		3	14	19,000

5 歳出状況

(1) 歳出内訳

(単位:円)

区 分	総務費	広 域 連 合 納 付 金				
		保険料	保険基盤 安定納付金	事務費	延滞金	小 計 (+ + +)
平成 24 年度	562,170	669,978,790	180,384,908	33,018,156	38,800	883,420,654
平成 23 年度	668,992	622,546,299	168,725,663	27,327,875	138,500	818,738,337
増 減	106,822	47,432,491	11,659,245	5,690,281	99,700	64,682,317

区 分	保険料還付金	一般会計繰出金	小 計 (+)	合 計 (+ +)
平成 24 年度	372,400	0	372,400	884,355,224
平成 23 年度	271,600	19,400	291,000	819,698,329
増 減	100,800	19,400	81,400	64,656,895

増減 = 24 年度 - 23 年度

6 経理状況

歳入総額 901,254,962 円

歳出総額 884,355,224 円

収支差引額 16,899,738 円

この差引額の内訳は、主に出納整理期間中に納付された保険料であるため、翌年度に繰り越し、新年度予算から広域連合へ保険料納付金として納付します。

7 申請書、届書取扱状況

(1) 資格関係

取扱件数

(主な内容) 被保険者証回収入力 1,680 件

被保険者証他再交付申請 509 件

負担限度額適用等認定申請 293 件 など

(2) 給付関係

取扱件数

(主な内容) 療養費支給申請 2,402 件

葬祭費支給申請 781 件

高額療養費支給申請 891 件

高額介護合算療養費 609 件 など

8 反省と課題

被保険者数は年々増加し、1人当たりに係る医療費も伸びています。この傾向は、今後も続くものと思われ、2年に1回見直しが行われる保険料率等への影響が今後危惧されます。

保険料の収納率については、特別徴収については100%となっていますが、普通徴収については、昨年より0.24ポイント収納率は向上したものの、100%には至りませんでした。

しかし、徴収部門が収納課へ集約されたことによる効果は着実に数字に表れており、現年度分収納率は年々向上してきております。

今後の課題として、滞納繰越分の収納率が46.78%から33.20%と、対前年に比べ13.58ポイントも下がってしまいました。滞納繰越分となっている被保険者の状況なども見ながら、原因を分析し、収納課と連携を図りながら収納率向上に向け取り組んでいくことが必要となっています。